

ウイルス感染症拡大における教会活動の自粛基準

2020年11月5日

フェーズ	社会状況 各県の指示に従う	礼拝の形態	牧会上の注意事項
フェーズ0	制限解除時	通常の聖餐式	
フェーズ1 (注意喚起)	感染小康期～感染増加期 *県の人口10万人あたり新規感染者0.6人未満。平均値は直近の日曜日から土曜日までの7日間平均値の小数点第二位以下四捨五入。 *参考：兵庫県の場合 新規感染者数が1日当たり、直近1週間平均30人未満	限定された聖餐式 ・インテイクション陪餐（ぶどう酒を付けたパンは最後に信徒に渡す） ・一種陪餐	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者の発熱、せきやくしゃみなどの体調管理 ・教会施設（礼拝堂・会館）の換気などの徹底 ・消毒液などの設置と実施の徹底 ・陪餐直前の消毒の実施と徹底 ・陪餐時はトングなどを使用し、非接触方法をとる ・茶話会昼食を含む集会等の延期または、中止 ただし、熱中症予防のため個々に水分補給を促す ・聖歌やチャントを省略する ・礼拝中のマスク着用 ・隣席との間隔を1m以上あけて着席 ・礼拝時間を短縮（1時間以内）する ・献金箱を使用する ・出席者を制限する ・他教派、教会への礼拝出席の自粛
フェーズ2	感染拡大期以上 *県の人口10万人あたり新規感染者0.6人以上。平均値は直近の日曜日から土曜日までの7日間平均値の小数点第二位以下四捨五入。 *参考：兵庫県の場合 新規感染者数が1日当たり、直近1週間平均30人以上	陪餐しない礼拝 ・聖餐式前部 ・み言葉の礼拝	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅にいる信徒への牧会的な配慮 ・メールやリモート会議などを活用 ・信徒訪問はせず、電話やメールなどで定期的な安否確認
フェーズ3	緊急事態宣言対象地域 特定警戒都道府県	公開の礼拝の自粛 ・信徒は自宅で祈る ・教役者・家族のみで礼拝する。	

神戸教区新型コロナウイルス感染症対策室

*礼拝は、消毒の徹底と三蜜を避け、感染防止を十分に注意して実施してください。

*各教会の置かれている地域の状況が異なるため、兵庫県の基準は参考とし、各県の社会活動制限基準に従ってください。

*各県で基準の無い場合は上記の兵庫県基準を準用してください。

*礼拝を自粛する場合は、牧師が教会委員会と協議のうえ、教区主教に相談して決めてください。

*詳細については、教区のガイドラインに従った礼拝を実施してください。